

## 輪読会の仲間

東北教区仏教壮年会連盟 佐藤治雄

沖縄・北豊・山口・東京・東北～このつながりはなんだと思いますか。

仏教壮年会連盟の評議員をさせていただいた仲間が、ひと月・ふた月に一度、グループLINEで輪読会を続けています。

評議員の任期が終わって全国の仲間とお会いしたり、お話しする機会がなくなっていく中、昨年末、沖縄の仲間から輪読会の提案がされ、飛びついたメンバーです。

題材は雑誌『大乗』の記事や、その時々の教材です。記事の読みまわしをしながら意見交換をするだけの会で、現在門徒5名と僧侶1名の構成です。一度目を通した記事からも、耳から入ってくることで様々な気づきが生まれ、新しい見方や考え方につれることができが楽しくて、次回輪読会のため、自分の予定をやりくりするのもまた楽しいという状態です。

本年4月の第24回全国仏教壮年大会に参加した翌日に、メンバー全員が京都で本当に久々にお会いし、夜が更けるのも忘れて語りあかしました。

現在オンとオフの入り混じった状態で活動していますが、当時広報委員をさせていただいた関係で、私がこの「仏教壮年の声」への投稿を執筆することになり、恥ずかしい限りでございますが、ご報告させていただきます。